

国土地理院政策懇談会

用語集

GPS

Global Positioning System の頭文字を取ったもので日本語では、汎地球測位システム。

地上約 2 万kmを周回する 24 個の GPS 衛星(6 軌道面に 4 個ずつ配置)、GPS 衛星の追跡と管制を行う管制局、測位を行うための利用者の受信機で構成されている。測量では、2 台以上の受信機を使い同時に 4 個以上の同じ GPS 衛星を観測し、GPS 衛星からの電波信号がそれぞれの受信機に到達するまでの時間差を測定して、2 点間の相対的な位置関係を求めている。

IGS (国際 GPS 事業)

測地学・地球物理学等の宇宙研究活動を支援するために、各国関係機関の協力のもとで、世界各地の研究者に GPS 情報を提供することを目的としている。

全世界に GPS 衛星の追跡ネットワークを構築し、連続観測を行うとともに、観測データをデータセンターで集中管理して提供している。

RTK-GPS

リアルタイムキネマティック GPS。(Real Time Kinematic – GPS)
位置の分かっている基準局と位置を求めようとする観測点で同時に GPS 観測を行い、基準局で観測した位相データ等を無線等を用いて観測点へリアルタイムに送信し、基準局の位置成果に基づき観測点の位置をリアルタイムに求める技術。

VLBI

Very Long Baseline Interferometry の頭文字を取ったもので日本語では、超長基線電波干渉法。

はるか数十億光年の彼方から地球に届く電波星の電波の到達時刻の差から何千kmも離れた 2 点間の距離を、わずか数mmほどの誤差で測る技術。

IVS (国際 VLBI 事業)

測地学・地球物理学等の研究活動を支援するために、各国関係機関の協力のもとで、VLBI 計画を推進することを目的としている。

VLBI 観測計画の調整、VLBI 局の標準性能の制定やデータフォーマ

ット及び処理結果の標準化を行うとともに、データ解析ソフトウェアに対する勧告を行い、併せて適切な品質及び公開方法の確立を行う。

測地成果 2000

近年の GPS 及び GIS というコンピュータによる位置情報の推定・利用技術の出現により、両技術に対応する位置の基準として、現在の日本測地系を世界測地系に基づいた高精度な測地基準点成果に構築し直すこと。

リモートセンシング

離れた所から直接触れずに対象物を固定あるいは測定し、またその性質を分析する技術。

物体から反射または放射される電磁波の固有性に着目し、電磁波を観測して、物体の識別やそれが置かれている環境条件を把握する技術。

光学センサ

可視から赤外に至る光の領域のセンサ。

可視光線と赤外線（近赤外線、中間赤外線、熱赤外線）の反射で測定することができるが、夜間や雲の下の測定はできない。

合成開口レーダ

マイクロ波の反射やマイクロ波を照射してその反射波で測定するセンサ。天候・昼夜に左右されず、高い分解能を得られる。

レーザスキャナ

走査式のレーザ測距儀。

地上に設置して、細かな地形の 3 次元位置を求める場合のほか、通常は、航空機等のプラットホームに設置し、GPS、プラットホームの姿勢計測装置（ジャイロ等）と組み合わせて、測量対象地域内のランダム点地形データの 3 次元位置を幾何学的に求める、航空レーザ測量として使われる。

ポータルサイト

ユーザにとってインターネットの入り口となる Web サイト。

多種多様な情報提供、掲示板、リンク集、検索エンジンなどのサービスを行うサイト。

Yahoo!、Infoseek などの検索エンジン系のサイト、BIGLOBE、ニフティなどのネットワークプロバイダサイトが有名。

クリアリングハウス

情報センター、情報交換機関。原義は、手形交換所。

地理情報システム(GIS)の分野では、通信ネットワークを活用した地理的情報の流通機構全体を指す。

検索エージェント

利用者からの検索要求を分析し、得られた検索意図と配下の各サーバの提供する情報の特徴を照合し、もっとも適した情報源（サーバ）を選択し情報を提供するシステム。

空間データ基盤

高度情報通信社会を実現するために重要視されている電子地図をはじめとした様々な位置情報を総合的に利用できるようにするための社会基盤

GSDI（全地球空間データ基盤）

先進各国を中心に進められている国家レベルの空間データ基盤の整備を全地球的に推進し、地球レベルで高度情報通信社会を実現するもの。

NSDI（国土空間データ基盤）

GISに必要な国土に係る基本的な地理情報。

GISの利用を支える地図データ及び位置参照情報（空間データ基盤）とその上に掲載されるGISに広範に利用される国土に係る総計情報等の表形式の空間データ（基本空間データ）及び航空写真等から作成されるデジタル画像からなる。

建設 CALS/EC

公共事業支援統合情報システム。

これまで紙でやり取りされてきた公共事業に関する情報を、標準に基づいて電子化し、情報機器をネットワークに接続することにより、特定の機器、システムに縛られることなく、組織を越えて情報の伝達、共有、処理、加工、検索、連携を可能とする環境の総称。